

たうえ

令和5年5月19日

さくらぐみ・すみれぐみ

■龍澤寺こども園
一関市山目町3丁目の認定龍澤寺こども園の田植えは19日、同市上坊地内の約2畝の水田で行われ、年長児が秋にたくさんの穂が実ることを期待して、一生懸命もち米の苗を植えた。
同園の食育教育の一環。田植えには年長児が4月に種まきを行い、園敷地内で



田植えを体験する龍澤寺こども園の園児

長さ12センチほどまで育てたもち米「こがねもち」の苗が使われた。

作業に先立ち、講師を務めるJAいわて平泉一関青年部中里支部の支部員が苗の植え方として、4本ほどを持ち、あらかじめ引かれた升目の重なる部分に植えようと呼び掛けた。

年長児33人と保護者が、前半と後半に分かれて手植えを体験。田植えを行うのは今回が初めてとあって、泥の感覚に慣れず足を滑らせる園児もいたが、保護者らの手を借り、教わった通り丁寧に苗を植えた。

小野寺源ちゃんは「餅つきをするのが楽しみ」と収穫を心待ちにしていた。同園によると10月に稲刈り、その後餅つきを計画している。



令和5年5月20日(土)岩手日日より